

DX活用で魅力向上

道建協関西

日本道路建設業協会関西支部
(田口和男支部長)と大阪アスフ
ルト合材協会(八田邦裕会長)

は9日、大阪市の大坂キャッスル



ホテルで2025年新年互礼会を開いた。会員ら110人が参加し、新年の門出を祝った。

田口支部長は「大阪・関西万博の工事が進む中、時間外労働上限規制もあり、忙しい状況が続いていると思う。道路建設のDX(デジタルトランスフォーメーション)や技術開発により、労働時間削減に取り組み魅力ある産業を目指す」とあいさつした。写真。

八田会長の発声で乾杯し、歓談に移った。

